



図 1 (左側の試験管から)  $\text{Fe}^{2+}$ のみ。  $\text{Fe}^{2+}$ に  $\text{NaOH}$  滴下。  $\text{Fe}^{2+}$ に  $\text{NH}_3$  滴下。  $\text{Fe}^{3+}$ のみ。  $\text{Fe}^{3+}$ に  $\text{NaOH}$  滴下。  $\text{Fe}^{3+}$ に  $\text{NH}_3$  滴下。



図 2 (左側の試験管から)  $\text{Fe}^{2+}$ のみ。  $\text{Fe}^{2+}$ に  $\text{K}_4[\text{Fe}(\text{CN})_6]$  滴下。  $\text{Fe}^{2+}$ に  $\text{K}_3[\text{Fe}(\text{CN})_6]$  滴下。  $\text{Fe}^{3+}$ のみ。  $\text{Fe}^{3+}$ に  $\text{K}_4[\text{Fe}(\text{CN})_6]$  滴下。  $\text{Fe}^{3+}$ に  $\text{K}_3[\text{Fe}(\text{CN})_6]$  滴下。



図 3 (左側の試験管から)  $\text{Fe}^{2+}$ のみ。  $\text{Fe}^{2+}$ に  $\text{KSCN}$  滴下。  $\text{Fe}^{3+}$ のみ。  $\text{Fe}^{3+}$ に  $\text{KSCN}$  滴下。



図 4 (左側の試験管から)  $\text{Fe}^{2+}$ のみ。酸性条件下の  $\text{Fe}^{2+}$ に  $\text{H}_2\text{S}$  を加えたもの。塩基性条件下の  $\text{Fe}^{2+}$ に  $\text{H}_2\text{S}$  を加えたもの。  $\text{Fe}^{3+}$ のみ。酸性条件下の  $\text{Fe}^{3+}$ に  $\text{H}_2\text{S}$  を加えたもの。塩基性条件下の  $\text{Fe}^{3+}$ に  $\text{H}_2\text{S}$  を加えたもの。



図 5 (左側の試験管から) 封をせずにそのまま放置したもの。釘を 1 本入れたもの。スチールウールを入れたもの。それぞれに  $\text{KSCN}$  を滴下した。